

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表:2022年3月1日

事業所名 Plus+days平野校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		一人当たりの施設面積は十分だと思えます。	
	2	職員の配置数は適切である	○		指導員・保育士・教員免許保持者などの多様性があります。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		子ども達が視覚的に部屋ごとの目的が分かるようになっております。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		業務改善をして、子ども達に還元できるように、心がけております。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎日、個人・職員間で振り返りとその共有ができるように取り組んでおります。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業を点検・改善するために、自己評価を実施・公開しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		行政アンケートを実施・公開しております。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		zoomを用いて、多くの職員で研修を実施しました。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		多くの職員で、お子様の課題を話し合い、計画書を作成しております。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		子どもの実態に合わせて、アセスメントツールを選択しております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		子ども達の実態に合うように、複数人で検討しております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		成長に合わせて、その都度、療育内容を変えております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		職員で何度も話し合い設定しております。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		療育の内容や目的に応じて、集団形態を決めております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援内容について、立案と打ち合わせをして、取り組んでおります。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼を実施して、その日の子ども達の様子を共有して、振り返っております。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		学習の記録や様子を記録して、取り貯めております。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一度、必ず実施しております。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		個別の支援計画に取り入れております。		

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		お子様への理解があるものと責任者が出席しております。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校のHP等で、把握して、送迎ミスが無いようにしております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、該当するご家庭が無いため、実施しておりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		送迎時などに、保育園や幼稚園の職員と情報共有をしております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		送迎時などに、保育園や幼稚園の職員と情報共有をしております。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている				現在の社会情勢から、そのような活動はしていません。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在の社会情勢から、そのような活動はしていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		現在の社会情勢から、そのような活動はしていません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎時など、話す機会を確保して、伝えるようにしております。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	連絡帳を使って、事業所の様子を伝達しております。	具体的な支援の方法までは、伝えられていません。今後の課題と致します。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用の契約の際に、説明しております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者様から相談を頂いた際は、必要な助言と支援を行っております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在、開催していません。必要性や要望などを加味して。今後、検討して参ります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や申入れがあった際は、その日の内に共有して、解決策を話し合っ、対応しております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		HPにて、頻繁に活動の様子を発信しております。	
	35	個人情報に十分注意している	○		書類等は全て鍵のかかる棚に保管しております。	会話で個人が得られないように気お付けて参ります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		傾聴の姿勢を心がけております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		近くのお店と交流する活動を行いました。	もっと、交流する活動を計画して参ります。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		全て策定して、周知しております。	年度途中から利用を開始されたお子様とその保護者様への周知も徹底して参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎年、子ども達と避難訓練を実施しております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止のため、カメラを設置するなどしております。	今後、職員研修を行って、参ります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		子どもの安全を第一に、危険と判断される場面においてのみ行います。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	聞き取りの情報を職員で共有して、注意しております。	必要に応じて、医師の指示に基づく対応をして参ります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		その都度、報告書を作成して、事前防止に努めます。	